



大分県農林水産研究指導センター 水産研究部

OITA PREFECTURAL AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES RESEARCH CENTER
FISHERIES RESEARCH DIVISION



水産研究部(佐伯市)



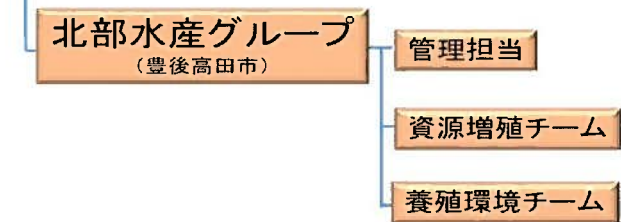
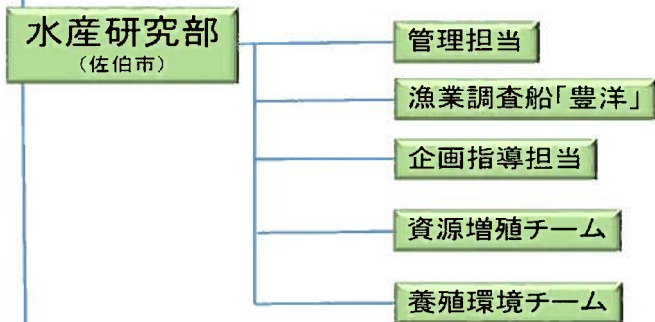
北部水産グループ(豊後高田市)

沿革

- 1900(明治33)年 大分市に水産試験場を創設
- 1903(明治36)年 佐賀関町(現大分市)に移転
- 1913(大正2)年 大分市に移転
- 1915(大正4)年 大分市に南大分養魚場を開設
- 1945(昭和20)年 水産試験場が臼杵市に移転
- 1951(昭和26)年 呉崎村(現豊後高田市)に浅海漁業研究所を創設
- 1967(昭和42)年 南大分養魚場を廃止し、安心院町(現宇佐市)に内水面漁業試験場を創設
- 1969(昭和44)年 水産試験場が上浦町(現佐伯市)に新築移転
- 1979(昭和54)年 栽培漁業センター開設(上浦町)
- 1984(昭和59)年 魚病指導総合センター開設(上浦町)
- 1985(昭和60)年 水産物加工指導センター開設(上浦町)
- 1990(平成2)年 冷水魚研究センター開設(安心院町)
- 1996(平成8)年 水産試験場、浅海漁業試験場、内水面漁業試験場を組織統合し、大分県海洋水産研究センターを開設
- 2005(平成17)年 機構改革により、大分県農林水産研究センター水産試験場に改組
豊後高田市に浅海研究所呉崎研究棟竣工
- 2010(平成22)年 組織再編により、大分県農林水産研究指導センター水産研究部に改組
冷水魚研究センターを廃止
- 2011(平成23)年 浅海・内水面グループ本館を豊後高田市呉崎に新築移転
- 2019(平成31)年 内水面チーム施設を廃止し、浅海・内水面グループが北部水産グループに改組
豊後高田市に北部水産グループ魚病棟竣工

組織

農林水産研究指導センター (本部:豊後大野市)



北部水産グループ管轄エリア
[海面]瀬戸内海
[内水面]水産研究部管轄外



水産研究部管轄エリア
[海面]豊後水道
[内水面]佐伯市・臼杵市・津久見市

基本理念と行動指針

【基本理念】

変化に対応し、挑戦と努力が報われる農林水産業を実現するための研究開発を行う。

【行動指針】

ニーズ スピード 普及

業務概要

管理担当

- 管理、庶務会計
- 漁業調査船の運航・管理

漁業調査船「豊洋」

漁業調査船「豊洋」
進水：令和元年 総トン数：56トン
全長：28.5m 幅：5.58m
最大速力：14.8ノット
航海速力：13.0ノット



企画指導担当

- 調査研究の企画及び連絡調整
- 調査研究成果のとりまとめ及び広報

- 研究成果の普及・指導



研修会等の開催

水産教室や研修会等を開催して、技術の普及・指導に努めています。



広報誌「アクアニュース」



調査研究報告



評価会議の開催

研究計画や成果について外部委員による評価会議を開催しています。



水産研究部 ホームページ

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

広報誌、事業報告、調査研究報告、HP等を発行・発信し、成果の普及指導や情報提供をしています。

水産研究部資源増殖チーム

管轄エリア: 豊後水道と臼杵市・津久見市・佐伯市の内水面

- 種苗生産と育種に関する研究と指導
- 放流効果に関する調査研究と指導
- 海洋環境・磯焼けに関する研究

- 水産資源の管理に関する調査研究
- 漁場造成技術に関する研究



ブリの種苗生産技術開発

輸出用ブリ種苗の安定供給のため、ブリの種苗生産技術開発を行っています。

* 写真はブリのふ化仔魚(30日齢)



磯焼けの調査

磯焼けの回復技術の開発を目的に、藻場分布調査や藻場回復実証試験を行っています。

* 写真は食害防止試験区の調査



タチウオ調査

漁獲量が減少しているタチウオの資源管理措置を検討するための調査を行っています。

* 写真はタチウオ曳き縄釣り

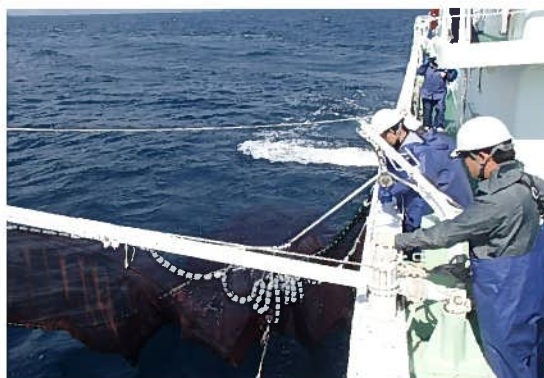


遡上稚アユ調査

河川漁場の最重要魚種であるアユ資源の維持増大を図るため、番匠川での遡上稚アユ調査を行っています。



卵稚仔調査



モジャコ調査

調査船を使った定線調査で水温、塩分等の海況と魚群、卵稚仔等の分布を観測して、情報発信しています。また、調査船でモジャコの来遊量の調査も行っています。

水産研究部養殖環境チーム

管轄エリア: 豊後水道と臼杵市・津久見市・佐伯市の内水面

- 病害対策技術の開発と指導
- 養殖技術の開発・改良と指導

- 水産物の品質向上技術開発
- 漁場環境保全に関する調査と指導



海産魚介類の病原体検査

養殖魚介類の疾病原因を明らかにして対策を指導することで、病害発生時の被害軽減と病原体の拡散防止に努めています。

* 写真はPCR法による病原体検査



養殖魚の病害防除技術開発

魚類養殖生産の安定と、抗菌剤に依存しない安全・安心な生産をめざし、ワクチン等の疾病予防技術の研究を行っています。

* 写真はヒラメへの試作ワクチン接種



養魚飼料の低コスト化研究

養魚飼料原料の魚粉価格高騰に対応し、植物原料を利用した安価な飼料の実用化に向けた改良研究を行っています。

* 写真は試験用飼料の製造



養殖生産物の品質分析

ブランド化による県産養殖生産物の商品力向上をめざし、高品質な養殖魚の生産技術を開発しています。

* 写真は魚肉試料からの脂肪抽出



養殖漁場環境の観測

養殖漁場の水質・底質環境を定期的に観測し、生産力に見合う適正な漁場利用を推進しています。

* 写真は採水器を用いた試料海水の採取



有害プランクトンの監視

漁業被害防止のため、赤潮や貝毒の原因となる有害プランクトンの出現を監視し、発生予測による迅速な対応を指導しています。

* 写真は顕微鏡観察によるプランクトンの同定と計数

北部水産グループ資源増殖チーム

管轄エリア：瀬戸内海と水産研究部管轄外の内水面

- 種苗生産・増養殖技術の開発と指導
- 放流技術・放流効果に関する研究と指導
- 水産資源の評価・管理に関する調査研究



アサリ増養殖の技術開発

アサリ資源回復のために、アサリ人工種苗の量産化を図るとともに、各海域に適した増殖手法を開発しています。

* 写真は杵築市守江湾干潟の被せ網によるアサリ増殖試験



タイラギ種苗生産の技術開発

タイラギ資源復活と新たな養殖業創出を目指して、種苗生産技術を開発しています。また、天然の小型貝を用いたタイラギ養殖の現地実証を行っています。

* 写真は着底直後のタイラギ人工種苗



試験操業

主要な漁獲対象種の資源状態や分布状況を推定するために、試験操業により生物情報を収集しています

* 写真は小型底曳網漁船による試験操業風景



キジハタ等の放流効果調査

キジハタ等の効果的な放流技術を開発するために、標識放流による放流効果の検証を行っています。また、キジハタの種苗生産技術開発にも取り組んでいます。

* 写真は再捕されたキジハタ2歳魚(全長301mm)



魚市場調査

ヒラメ、マコガレイ等の水揚げ状況を把握するために、各市場において全長測定や標識魚の確認を行っています。

* 写真は別府市場内での調査風景



遡上稚アユ調査

河川漁場の最重要魚種であるアユ資源の維持増大を図るために、主要河川において稚アユの遡上状況をモニタリングしています。

* 写真は大野川で採捕したアユ

北部水産グループ養殖環境チーム

管轄エリア：瀬戸内海と水産研究部管轄外の内水面

- 藻類の増養殖技術の開発と指導
- 養殖技術の開発研究と指導

- 病害対策技術の開発と指導
- 環境保全に関する調査と指導



ヒジキ養殖の技術開発

ヒジキ養殖の普及と規模拡大を図るため、人工種苗を用いた養殖手法と養殖ロープの越年利用手法の技術開発を行っています。

* 写真は人工種苗を用いて養殖したヒジキ



ヒジキ資源の増殖技術の開発

天然ヒジキ資源の維持・増大を図るため、天然採苗したヒジキブロックを用いた移植による増殖手法の技術開発を行っています。

* 写真はコンクリートブロックに付着して生長したヒジキ



魚介類の病原体検査

魚介類の疾病原因を明らかにして対策を指導することで、病害発生時の被害軽減と病原体の拡散防止に努めています。

* 写真は病原体の遺伝子抽出作業



有害プランクトンの監視

漁業被害防止のため、赤潮や貝毒の原因となる有害プランクトンの出現を監視し、発生予測による迅速な対応を指導しています。

* 写真は顕微表観察によるプランクトンの同定と計数



海洋観測

定線調査等で水温、塩分等を観測し、海況情報として情報発信しています。

* 写真は定線調査の海洋観測

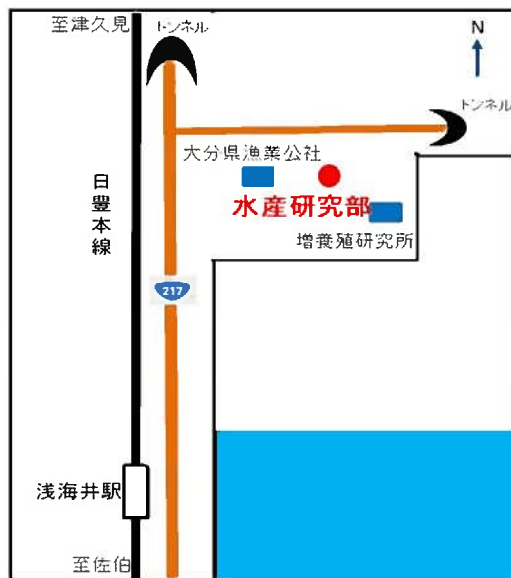
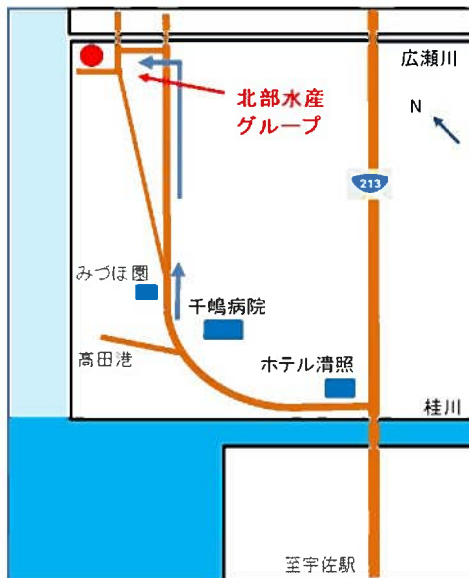


外来魚・カワウ等の対策指導

外来魚やカワウ等によるアユ等の食害被害を軽減するために、対策指導を行っています。

* 写真は親鳥捕獲後、巣に残されたカワウのヒナ

位置図



大分県農林水産研究指導センター水産研究部
〒879-2602 佐伯市上浦大字津井浦194-6
TEL:0972-32-2155 FAX:0972-32-2156
E-mail: a15090@pref.oita.lg.jp URL: <http://www.pref.oita.jp/soshiki/15090/>

交通機関
JR浅海井駅から
徒歩約30分

水産研究部 北部水産グループ
〒879-0608 豊後高田市呉崎3386
TEL:0978-22-2405 FAX:0978-24-3061
E-mail: a15091@pref.oita.lg.jp

交通機関
JR宇佐駅から
タクシー約30分